

RPPC メールマガジン 第 720 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 4 月 4 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表は特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

～平成 30 年度 総会のご案内について～

日程：平成 30 年 6 月 5 日（火曜）

場所：アジュール竹芝 ガーデンシティ浜松町

※詳細につきましては決まり次第ご連絡いたします。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート施策の高度化、協議会内に部会設置を検討
2. 埋立浚渫協会が「港湾工事における働き方改革推進の基本方針」

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート施策の高度化、協議会内に部会設置を検討

国土交通省港湾局は、「リサイクルポート施策の高度化研究会」で示されたとりまとめ方策の具体化に向け、リサイクルポート推進協議会内に各部会を設け、施策展開して行く予定。リサイクルポート施策の高度化では、

- ①港湾を活用した災害廃棄物の広域処理、
- ②鉄スクラップの国際流動、
- ③港湾における産業副産物の利用促進、

を図ることにしており、リサイクルポートの更なる活用を目指す。このうち、

①災害廃棄物については、セメント製造業者、製紙業者等と連携し、受入側の条件に合わせた一連の処理フローを構築する。
受入側の具体的な要望を聞いたうえで、港湾背後にストックヤード予定地を確保しておき、震災時には一次仮置き場として活用、その後

はセメント工場や発電所等の需要地に段階的に海上輸送する。

②鉄スクラップについては、大型船による輸出機能を確保し、安定的な鉄スクラップ資源輸出に向けた港湾利用を調整していく。現状では大型バルク船の入港が可能な水深13～14m岸壁は少ないため、港湾管理者等とも協議し鉄スクラップ資源の効率的な輸出が可能となる拠点港を全国に複数港配置することなどを念頭に検討していく。

また③産業副産物に関しては、鉄鋼スラグ等の港湾事業での活用ポテンシャルが顕在化していることから、その適切な利用促進に繋げる取り組みを進める。供給元・活用先間が情報を共有する「産業副産物等利用促進連絡会（仮称）」をリサイクルポート推進協議会に設置し、国や地方公共団体の公共事業での資源需要と鉄鋼メーカー等供給側のマッチングを図る。

※関連情報（RPPCメルマガ号外（平成30年3月26日発行））

巨大災害時の災害廃棄物処理を海上輸送ネットワークで支えます
～リサイクルポート等を活用して循環資源流動を支援～

【国土交通省平成30年3月23日】

詳細につきましては下記 URL をご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000154.html

2. 埋立浚渫協会が「港湾工事における働き方改革推進の基本方針」

日本埋立浚渫協会は「港湾工事における働き方改革推進の基本方針」をまとめた。気象・海象条件の影響を受けやすい港湾工事の特性を踏まえた週休2日を実現することを目標に掲げている。

土曜日・日曜日の閉所を原則とした上で、ケーソン据え付けなど、数日に渡り連続静穏日が必要な工種では、土日の休みを当月内の別日に振り替え、4週8閉所の実現を目指す。

また時間外労働の適正化、生産性向上等に向けた取り組みを強化する。基本方針として自主行動計画の策定、生産性向上の取組みの推進（ICT活用、プレキャスト化等工業化、省力化工法導入）などを挙げている。

【港湾空港タイムス 18年04月2日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。